

『総研大文化科学研究』（第18号）原稿募集【募集要項】

総合研究大学院大学文化科学研究科は、総研大における文化科学研究(cultural and social studies)の成果を発信すると共に研究科内での連携強化を図るため、査読付き学術雑誌『総研大文化科学研究』を年1回刊行しています。

【『総研大文化科学研究』の特色】

- ・人文社会系では国内初の e-journal ですが、活字媒体でも刊行しています。
- ・研究科所属の大学院生、修了生、研究生に論文発表の機会を提供するとともに、広く国内外から論文等を募集し、文化科学全般について国際的に開かれた総合学術誌としています。
- ・専門分野にとらわれない学際的、総合的な視野にたつ論文も歓迎しています。
- ・論文等審査は、関連分野の第一線の研究者に依頼します。さらには、国内外で活躍する第一線の研究者で組織したアドバイザリー・ボードを設置しています。
- ・活字媒体にモノクロで掲載される写真・図表は、e-journal ではカラー図版で掲載されます。

【投稿及び執筆要領】

1. 応募資格は問いませんが、投稿に当たっては総合研究大学院大学・文化科学研究科に所属する教員の推薦文が必要です。寄稿された論文を掲載するか否かは、査読結果に基づき、編集委員会で決定します。
2. 言語に制限はありません。但し、査読者が確保できない言語での投稿は、受理できない場合があります。
3. 投稿原稿本文には氏名を記載せず、必ず別紙「投稿票」を添えて提出してください。
投稿原稿の区分は、次に掲げる区分となります。
なお、「論文」の区分で投稿する場合、一定の分量を求める場合があります。
 - ①論文
文化科学研究及び関連する諸分野に関するオリジナルな研究の成果をまとめたもの、若しくはある分野に関する研究史や研究成果、現状、展望等を総覧し、総合的にまとめたもの。
 - ②研究ノート
研究の中間報告等大きな研究の一部をなすもの、若しくは予察、試論、着想等を提示するもの。
 - ③資料紹介
文化科学研究及び関連する諸分野に関する資料の紹介や解題・翻刻を主とするもの。
4. 論文(endnote 方式、欧文の場合は両端揃えなし)、研究ノートには、次に掲げる書類を必ず添付してください。
 - ・当該言語ないしは日本語のサマリー(1000 字程度)、キーワード(5~10)
 - ・英文サマリー(400 ワード程度)、キーワード(5~10)
5. 原稿は、使用言語が日本語の場合は A4 判 1 頁につき全角 40 字×30 行、使用言語が英語の場合は A4 判1頁につき1行 10~15 ワード×28 行 ダブルスペースとします。その他の言語の場合は、本研究科各専攻の編集委員までお問い合わせください。
6. 日本語のローマ字表記については、研究社『新和英大辞典』のヘボン式を使用してください。
7. 図表には、通し番号、キャプション、出典、そして必要な場合は注などを付記してください。
写真・図表はモノクロ図版・カラー図版とも掲載可能です。モノクロ図版は本文中の該当箇所に挿入してください。なお、カラー図版は論文本文中に割り付けられないため、論文ごとにまとめてカラー図版掲載ページを設けます。また、カラー図版での掲載を希望する場合は別紙「投稿票」にカラー掲載希望理由を記入してください。カラー図版掲載の判断は編集委員が行います。
8. e-journal 及び活字媒体に掲載するために必要な図版や写真の著作権の取得及び利用許諾は、投稿者において手続きを行い、費用を負担してください。
9. 参考文献を原稿末尾に列挙する場合は次の例に従ってください(横書きの場合)。

梅棹忠夫

1969 『知的生産の技術』岩波書店。

井上光貞

1951 「古代仏教思想史研究の動向—古代国家の成立動揺と仏教—」『史学雑誌』 60(1):55-63。

キーン、ドナルド

1976「アメリカにおける日本研究」『英学史研究』9:93-113。

Dickinson, Frederick

1999 *War and National Reinvention: Japan in the Great War, 1914 - 1919*. Cambridge:

Harvard University Asia Center.

Smith, Christopher

2014 “Empire as Mirror: Imperialism and Identity in the Crest/Banner of the Stars Series.”

Science Fiction Film and Television, 7(3):409-432.

10. 論文応募は、随時受け付けますが、最終締切は2021年9月30日(木)(厳守)とします。
11. 論文は、所属専攻の編集委員に提出してください。
なお、学外の方は、葉山本部学務課学務支援係(下記本件照会先参照)に提出してください。
12. 掲載が決定した論文等の投稿者には「掲載決定通知書」を2022年1月上旬頃に送付します。
13. 刊行予定は、2022年3月です。
14. 掲載された論文は、出版後「総合研究大学院大学学術情報リポジトリ」に登録し、公開することを無償で許諾したものとします。尚、著作権の移動は一切ありません。

本件照会先:総合研究大学院大学

学務課学務支援係

E-mail:gshien@ml.soken.ac.jp